



ダブルタイプ (標準・ウォッシュャブル仕様) プルコード式

取扱説明書 保証書付き

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。

お読みになった後は、大切に保管してください。

INDEX

安全にご使用していただくために	1
取付け完成図と各部の名称	4
付属部品	5
取付け前の準備と確認	6
ブラケットの取付け方法	7
製品の取付け方法	9
製品の取外し方法	11
操作方法	12
巻き上げ速度の調整方法 (スプリングの調整)	13
上限位置の設定方法	13
スクリーンの洗濯方法 (ウォッシュャブル仕様)	14
お手入れ方法	21
こんなときには	21
メンテナンスシールについて	22
保証について	23

販売店様へのお願い

本取扱説明書は取付け後、必ずお客様へお渡しください。

安全にご使用していただくために

必ずお守りください。

ここではお買い上げいただいた製品を正しく取付け、安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。

取付けの前によくお読みになり、適切な取扱いをしていただきますようお願いいたします。

■表示内容と異なる誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、「重傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為をしてはいけない「禁止」の内容です。



製品の取扱いにおいて、その行為を必ずしていただく「強制」の内容です。

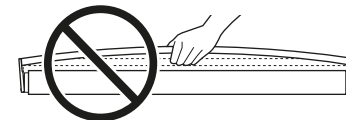
■取付け上のご注意 (取付け前に必ずお読みください)



警告


《取付け上のご注意》

- 付属のブラケット取付けネジは木枠用です。木質以外の下地には使用しないでください。
- 木部以外に取付ける場合は下地の種類や構造、強度に応じて適正なネジやアンカー等を使用してください。
ブラケットが確実に取付けられないと製品が落下し事故の原因になります。
- ブラケットは取扱説明書に記載されている数量を、指定のネジ本数で取付け位置に従い正しく取付けてください。適正に取付けないと製品が落下し事故の原因になります。
- 電動工具をご使用になる場合は、下地やネジ、アンカーにあった適正なトルクで取付けてください。過度なネジの締め付けは下地やネジが破損し、製品が落下する事故の原因になります。
- セットフレームだけをつかんで製品を持ち上げないでください。製品が落下し事故の原因になります。
- 製品本体をブラケットに取付ける際は、製品がブラケットにしっかりと固定されているか必ず確認してください。取付けが不完全な場合、製品が落下し事故の原因になります。




⚠ 注意 《取付け上のご注意》

- ⊘ 本製品は屋内用です。屋外には取付けしないでください。破損や故障する恐れがあります。
- ⊘ 水まわり向け製品以外は水に濡れる場所へは取付けしないでください。破損や故障する恐れがあります。
- ⊘ 高温多湿となる場所（サウナ・浴室・湯沸器近く・ボイラー室等）へは取付けしないでください。故障する恐れがあります。



水濡れ禁止




水場使用禁止

■使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）


⚠ 警告 《使用上のご注意》

- ⊘ お子様やペットを操作コードやチェーンで遊ばせないでください。操作コードやチェーンが首や体に巻きついて重大な事故の原因になります。
- ❗ 製品を操作しない時は付属のクリップでお子様やペットが届かない位置に操作コードやチェーンを留めてください。
- ⊘ 操作コードやチェーンにぶら下がったり無理な操作はしないでください。製品の破損や落下事故の原因になります。
- ⊘ 製品に物を乗せたり吊り下げるとはおやめください。製品の破損や落下事故の原因になります。



日本ブラインド工業会





⚠ 注意 《使用上のご注意》

- ⊘ 製品は所定の高さ範囲を超えて使用しないでください。製品の破損や故障する恐れがあります。
- ⊘ スクリーンの作動範囲付近には物を置かないでください。置いている物や製品が破損する恐れがあります。
- ⊘ 強風の時は必ず窓を閉めるか、スクリーンを巻上げてください。周りの物や製品が破損する恐れがあります。
- ⊘ 火のそばでの使用はおやめください。製品が燃えたり変形する恐れがあります。
- ⊘ 製品の分解はおやめください。製品の破損や故障する恐れがあります。







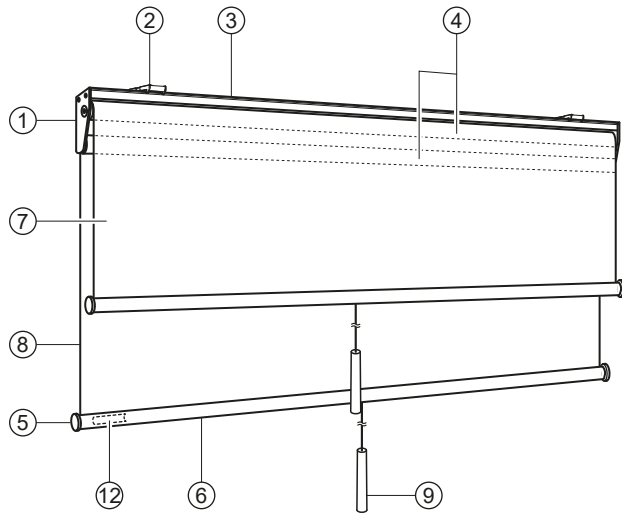
火気厳禁



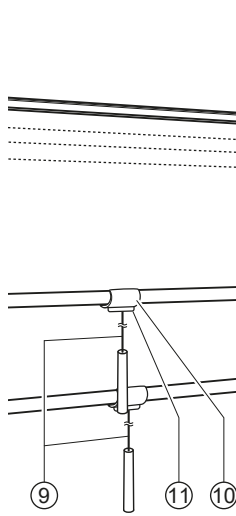
分解禁止

取付け完成図と各部の名称

標準仕様



ウォッシュャブル仕様

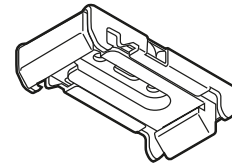


- ① サイドプレート
- ② ブラケット
- ③ セットフレーム
- ④ 巻取りパイプ
- ⑤ ウェイトバーキャップ
- ⑥ ウェイトバー
- ⑦ フロントスクリーン
- ⑧ バックスクリーン
- ⑨ プルコード
- ⑩ ホルダー
- ⑪ スライドホルダー
- ⑫ メンテナンスシール*¹

※1：修理時には製造年月・受注番号が必要です。
 ウォッシュャブル仕様は、スクリーン袋縫い部よりウェイトバーを引き出しメンテナンスシールをご確認ください。

付属部品

●ブラケット



幅1000mm以下	2個
幅1005mm～1500mm	3個
幅1505mm以上	4個

●ブラケット取付けネジ (ブラケット数×2本)



●ブラケット固定用ネジ (ブラケットアームと同数) ブラケットアームにブラケットを 固定するとき 사용합니다。 ※正面付けの場合に付属



●スクリーン巻きすれ調整シール (2枚)

スクリーン巻きすれ調整シール

スクリーンがきれいに巻き上がるよう工場出荷時に調整していますが、万が一取付け後、巻き上げる際にスクリーンが左右にずれる場合があります。傾きを調整後、再度昇降操作を行ってください。

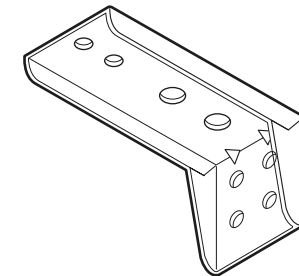
商品が水平に取付けられていますか？
 商品が水平に取付けられていない場合、巻きすれが起こる場合があります。傾きを調整後、再度昇降操作を行ってください。

商品が水平に取付けられているが、巻きすれが起こる

<p>【左側に巻きすれる場合】 スクリーンをすべて引き出しアルミ製パイプの右側に裏面のシールを貼ってください。</p>	<p>【右側に巻きすれる場合】 スクリーンをすべて引き出しアルミ製パイプの左側に裏面のシールを貼ってください。</p>
---	---

※1枚で調整できない場合は2枚、3枚と重ねて貼り付けてください。

●ブラケットアーム (ブラケットと同数) ※正面付けの場合に付属



警告

付属のブラケット取付けネジは木枠用ですので、木質以外の下地（石膏ボード等）にはご使用になれません。取付け面の材質およびブラケットのネジ穴(φ 4.4mm)に適合するネジ及びプラグ・アンカー等を別にご用意ください。

取付け前の準備と確認

1. 製品の確認

製品の変形、破損、付属品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんのでお買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

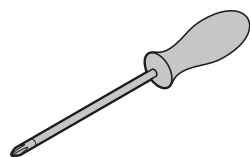
2. 保護材の取外し

保護材は、保護シートや保護フィルムの記載内容に準じて取外してください。
梱包材（保護材）の廃棄は、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。

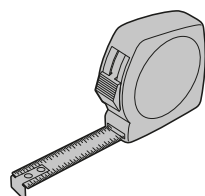
3. 取付け下地の確認

- ・製品に付属しているネジは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
- ・木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。
- ・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたネジ、アンカー等をご使用ください。

4. 取付けに必要な工具



プラスドライバー

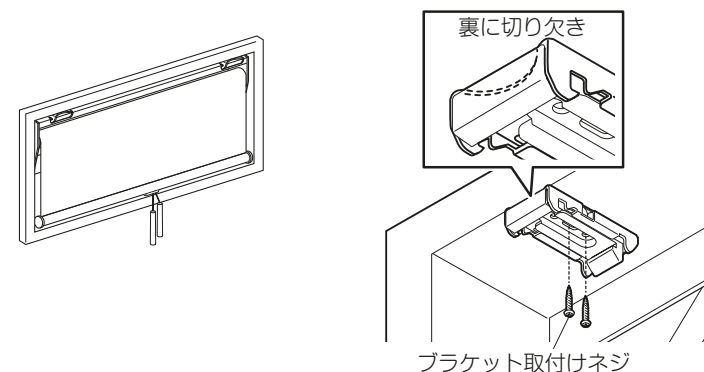


巻き尺(メジャー)

ブラケットの取付け方法

天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

ブラケットを下図のような位置に2本のブラケット取付けネジでしっかりと固定してください。

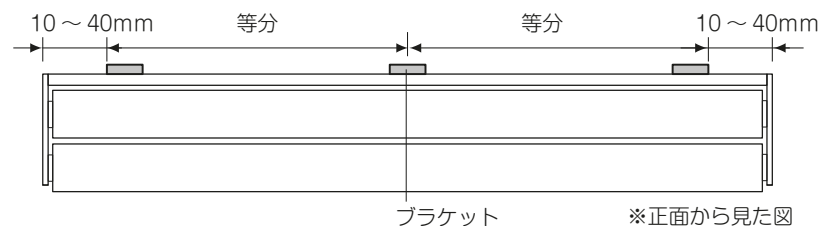


警告

木部以外に取付ける場合は下地の種類や構造、強度に応じて適正なネジ（ブラケット取付けネジ穴径φ4.4mm）やアンカー等を使用してください。
ブラケットが確実に取付けられないと製品が落下し事故の原因になります。

注意

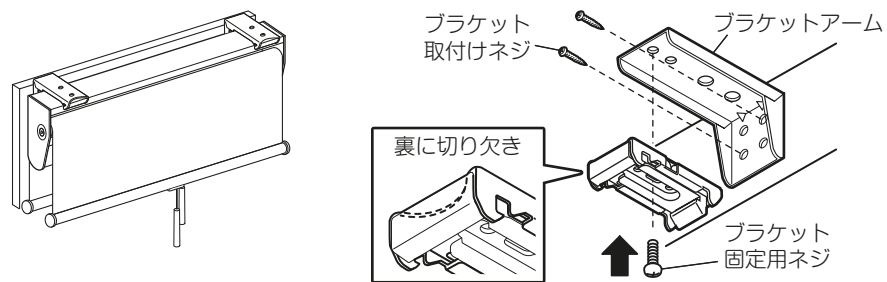
- ブラケットは下図の位置に取付けてください。
3個以上の場合は、ほぼ等間隔になるように取付けてください。
- ブラケットは左右平行（一直線上）になるように取付けてください。



正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

ブラケットアームを下図のような位置に2本のブラケット取付けネジでしっかりと固定してください。

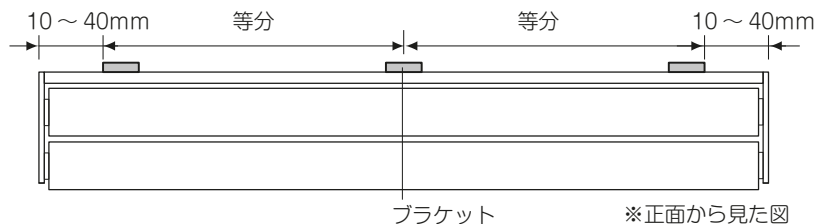
ブラケットをブラケットアームにブラケット固定用ネジでしっかりと固定してください。



警告 木部以外に取付ける場合は下地の種類や構造、強度に応じて適正なネジ（ブラケット取付けネジ穴径φ 4.4mm）やアンカー等を使用してください。ブラケットアームが確実に取付けられないと製品が落下し事故の原因になります。



- ブラケットは下図の位置に取付けてください。
3個以上の場合、ほぼ等間隔になるように取付けてください。
- ブラケットは左右平行（一直線上）になるように取付けてください。

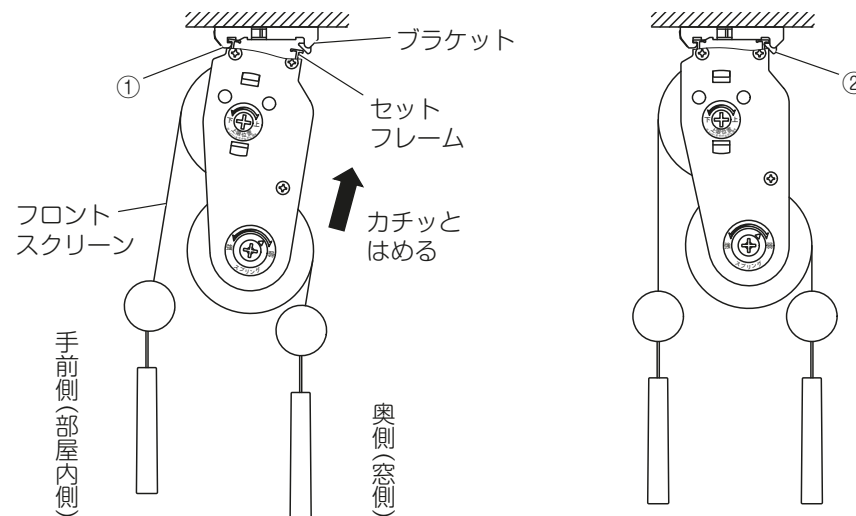


製品の取付け方法

天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）の取付け

- ①セットフレームの手前側をブラケットに差し込みます。
- ②奥側をブラケットにはめ込みます。
- ③保護シートがある場合は記載内容に準じて取外してください。

※フロントスクリーンはバックスクリーンの巻取り部を隠すため、ブラケット天面から約150mmの位置で停止します。（停止位置は上昇速度で多少前後します。）
停止位置を調整する場合は、P.13「上限位置の設定方法」を参照ください。

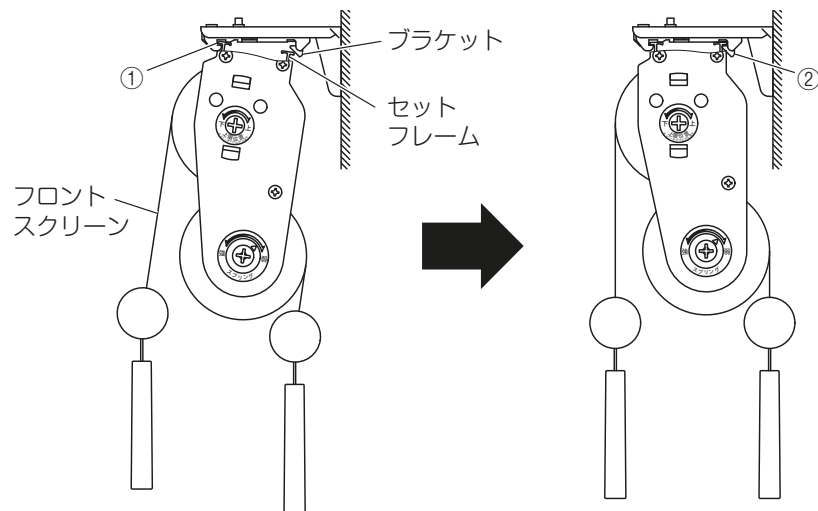


- セットフレームだけをつかんで製品を持ち上げないでください。製品が落下し事故の原因になります。
- 製品本体をブラケットに取付ける際は、製品がブラケットにしっかりと固定されているか必ず確認してください。取付けが不完全な場合、製品が落下し事故の原因になります。

正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）の取付け

- ①セットフレームの手前側をブラケットに差し込みます。
- ②奥側をブラケットにはめ込みます。
- ③保護シートがある場合は記載内容に準じて取外してください。

※フロントスクリーンはバックスクリーンの巻取り部を隠すため、ブラケット天面から約150mmの位置で停止します。（停止位置は上昇速度で多少前後します。）
停止位置を調整する場合は、P.13「上限位置の設定方法」を参照ください。



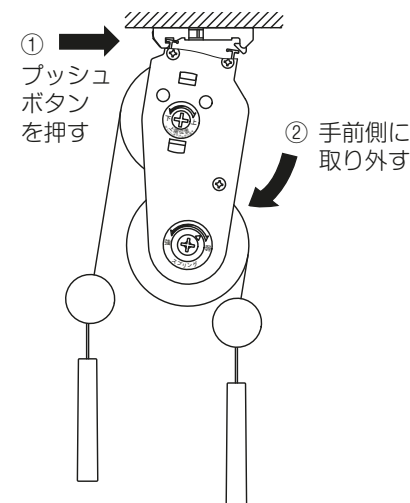
警告

- セットフレームだけをつかんで製品を持ち上げないでください。製品が落下し事故の原因になります。
- 製品本体をブラケットに取付ける際は、製品がブラケットにしっかりと固定されているか必ず確認してください。取付けが不完全な場合、製品が落下し事故の原因になります。

製品の取外し方法

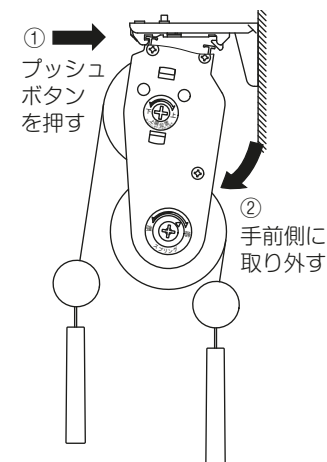
天井付け（窓枠の内側に取付けている場合）の取外し

- ①ブラケット手前側のプッシュボタンを押してください。
- ②製品を手前側に取外してください。



正面付け（窓枠の外側に取付けている場合）の取外し

- ①ブラケット手前側のプッシュボタンを押してください。
- ②製品を手前側に取外してください。



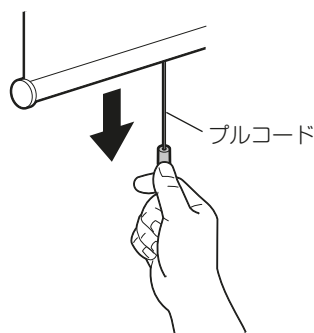
警告

- 製品を取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。支えがないと製品が落下し事故の原因になります。
- セットフレームだけをつかんで製品を持ち上げないでください。製品が落下し事故の原因になります。

操作方法

スクリーンを降ろす

プルコードを真下に引き降ろし、手を離してください。

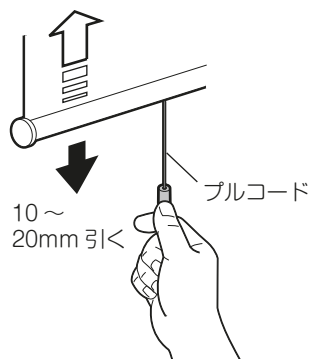


スクリーンを上げる

プルコードを少し（10～20mm）下に引き、手を離してください。

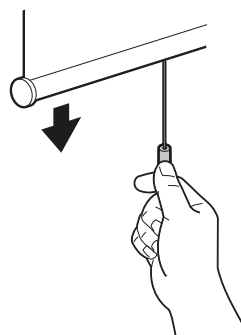
スクリーンが巻き上がります。

※フロントスクリーンはバックスクリーンの巻取り部を隠すため、ブラケット天面から約150mmの位置で停止します。（停止位置は上昇速度で多少前後します。）
停止位置を調整する場合は、P.13「上限位置の設定方法」を参照ください。



スクリーンを上げている途中で止める

プルコードを少し下に引き降ろすとスクリーンが止まります。



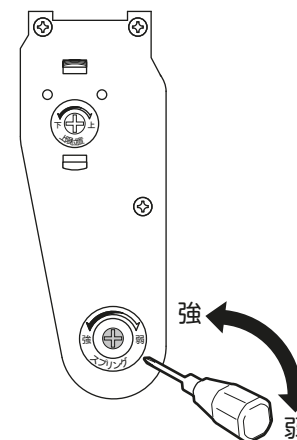
注意

- プルコードは必ずウエイトバーの中央位置にして操作を行ってください。
- 昇降時には、障害物が付近にないか確認してください。障害物がある場合は取り除いてから操作してください。
- スクリーン巻取り時に巻き乱れる場合は、付属の「スクリーン巻きすれ調整シート」で調整してください。

巻き上げ速度の調整方法（スプリングの調整）

本製品は、出荷時にスプリングの調整を完了していますが、スクリーンの巻き上げ速度を調整したい場合に行ってください。

- ①表示シールに従い、プラスドライバーで調整します。
- ②スプリング調整を【強】または【弱】の方向に回し、巻き上げ速度を確認してください。



【強】…巻き上げ速度が速くなります。

【弱】…巻き上げ速度が遅くなります。

※スプリング調整はフロントスクリーンは本体正面から見て左側、バックスクリーンは右側のサイドプレートにあります。

注意

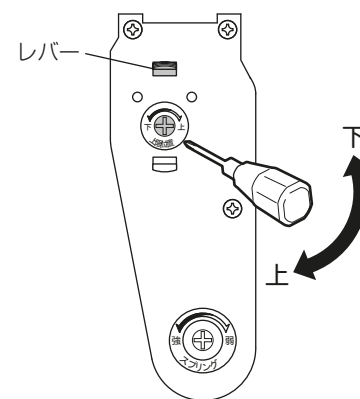
過度にスプリングを強くすると破損の原因になります。

※図はバックスクリーンの場合

上限位置の設定方法

本製品は、出荷時にフロントスクリーンの巻き上がり位置の設定を完了していますのでそのままご使用ください。但し、下記の方法で調整することができます。

レバーを下げながらプラスドライバーで上限位置設定を【上】または【下】の方向に1/8回転ずつ巻き、スクリーンの止まる位置を確認してください。



【上】…スクリーンの止まる位置が上がります。

【下】…スクリーンの止まる位置が下がります。

※上限位置設定はフロントスクリーンのみ調整可能です。本体正面から見て右側のサイドプレート部で調整します。

スクリーンの洗濯方法 (ウォッシュابل仕様)

※アラカルト仕様の場合、洗濯ラベルが付いているスクリーンのみ洗濯できます。

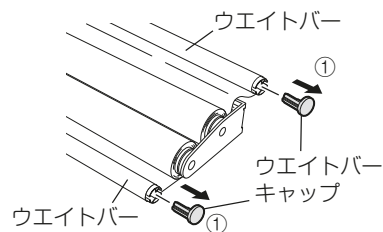
1. スクリーンの取外し

1) 製品を取外します。

製品をブラケットから取外してください。取外し方法は 11 ページを参照してください。

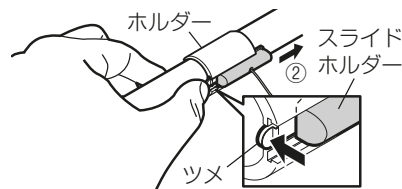
2) ウェイトバーキャップとプルコードを取外します。

① ウェイトバーの両端にあるウェイトバーキャップを取外してください。

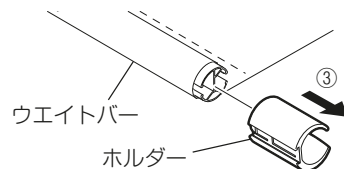


② ホルダー左側のツメを押しながらスライドホルダーを取外します。

※スクリーンの種類によってはスライドホルダーが外しにくいものがあります。その際は、左から強くスライドホルダーを押し、取外してください。

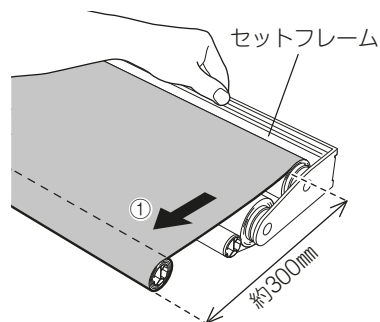


③ ホルダーをウェイトバーに沿ってスライドさせ、取外します。



3) フロントスクリーンを全て引き出します。

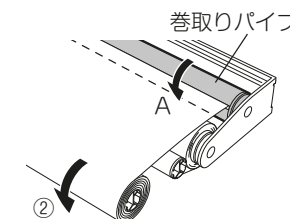
① 片手でセットフレームを押さえ、スクリーンを約 300mm ほど引き出した状態で軽く引くとストッパーがかかります。このときスクリーンが巻き上がらないことを確認してください。



スクリーンの洗濯方法 (ウォッシュابل仕様)

② 引き出したスクリーンをウェイトバーにゆるく巻き付けます。引き出したスクリーンを巻き付けたら、新たにスクリーンを引き出し、ウェイトバーに巻き付けます。

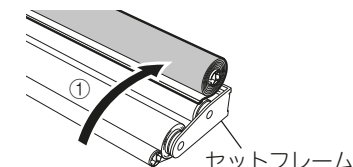
製品本体の巻取りパイプが露出するまで、スクリーンを巻き付ける動作①②を繰り返します。



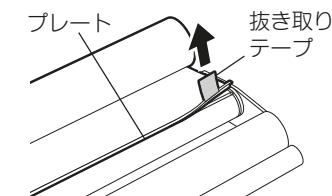
※巻取りパイプが露出した後、ストッパーがかからない場合は、巻取りパイプを直接矢印Aの方向に回転させストッパーをかけてください。(ストッパーがかかるまで半回転ほど戻ります。それ以上戻ると、ストッパーがかかっていないので再度矢印の方向に、前回よりも多めに回転させてください。)ストッパーがかかるまで、手を離さないでください。

4) フロントスクリーンを巻取りパイプから取外します。

① スクリーンを巻き付けたウェイトバーを、セットフレームの上部に移動し、抜き取りテープが見えるようにします。



② ストッパーがかかっていることを確認してから、抜き取りテープをゆっくりと引いて、プレートの一部を巻取りパイプの溝から取り出し、スクリーンを取外してください。

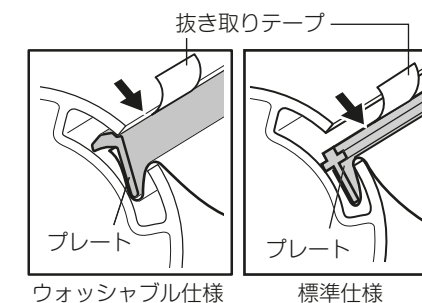


プレートが取外しにくい場合

図のようにプレートを全体的に矢印の方向に強く押し込んでから、抜き取りテープを引いて取外してください。

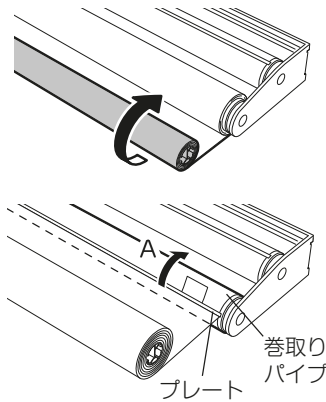
注意

標準仕様の場合、スクリーンとプレートを固定しているステープルでケガをしないように注意してください。

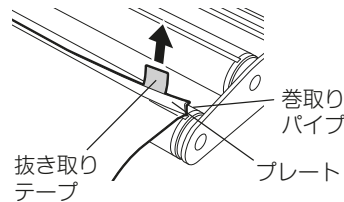


- 5) バックスクリーンを全て引き出します。
フロントスクリーンと同様にスクリーンを引き出し、バックスクリーンをウエイトバーにゆるく巻き付けます。

※巻取りパイプが露出した後、ストッパーがかからない場合は、巻取りパイプを直接矢印Aの方向に回転させストッパーを掛けてください。（ストッパーがかかるまで半回転ほど戻ります。それ以上戻る場合は、ストッパーがかかっていませんので再度矢印の方向に、前回よりも多めに回転させてください。）ストッパーがかかるまで、手を離さないでください。



- 6) バックスクリーンを巻取りパイプから外します。
フロントスクリーンと同様に抜き取りテープを引いて、バックスクリーンを巻取りパイプから外します。

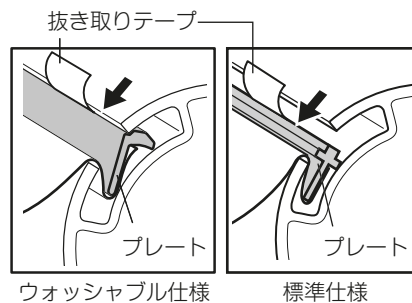


プレートが取外しにくい場合

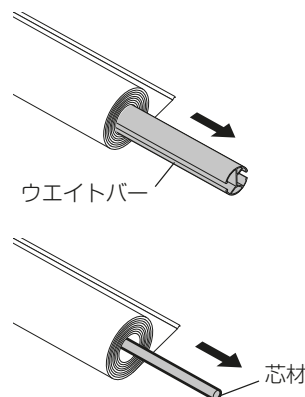
図のようにプレートを全体的に矢印の方向に強く押し込んでから、抜き取りテープを引いて取外してください。

注意

標準仕様の場合、スクリーンとプレートを固定しているステーブルでケガをしないように注意してください。



- 7) スクリーンからウエイトバーを抜き取ります。
ウエイトバーをスライドさせるようにスクリーンから引き抜きます。フロントスクリーン、バックスクリーン両方のウエイトバーを抜き取ります。

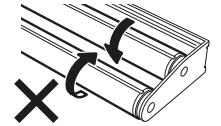


木目ウエイトバー・スクエアウエイトバーの場合

芯材をスクリーンから引き抜きます。

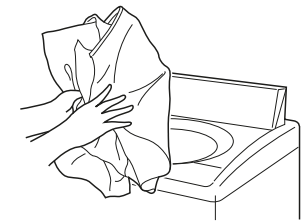
注意

- スクリーンを外した製品本体の初巻きを解除しないようにしてください。巻取りパイプを矢印の方向に回すと、ストッパーが解除され、パイプが急回転をして思わぬケガをする恐れがあります。
- 誤って初巻きを解除してしまった場合は、13ページの「巻き上げ速度の調整方法（スプリングの調整）」に従い、【強】の方向に調整してください。
※フロントスクリーンは生地を巻き取る前に13ページの「上限位置の設定方法」に従い、上限位置設定を上げる方向に約20巻程巻いてから行ってください。



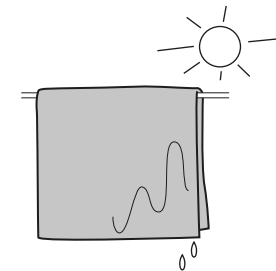
2. スクリーンの洗濯方法

- 1) スクリーンはネットに入れたり、折りたたんだりせずスクリーン全体を柔らかく球状に丸めて洗濯槽に入れてください。（洗濯前に水をたっぷり入れた洗濯液に15分程度漬け置きすると汚れが落ちやすくなります。）



- 2) 「手洗いモード」など弱水流の洗濯を選択し、水をたっぷり入れて洗ってください。（2槽式の場合には弱水流で3分洗い、3分すぎが目安となります。）

- 3) すすぎ後は脱水せず（シワ軽減のため）軽く水切りした後に、濡れたままスクリーンを広げて物干しなどに引っ掛けて乾かしてください。
物干しへの移動の際、水滴が垂れますので注意してください。



- 4) 乾燥後のアイロン掛けは、ドライ・中温度（150℃を目安）に設定し、スクリーンの横（幅）方向に軽くアイロンをかけてください。
※アイロンを掛ける広い場所がない場合はスクリーン両端部をゆるく巻いて、回転させながらアイロンを掛けてください。



注意

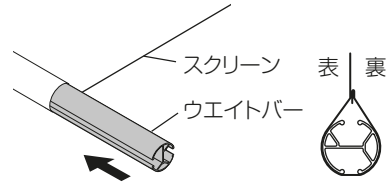
- スクリーンに縫付けられた洗濯表示に従い洗濯してください。
- 他の洗濯物と一緒に洗濯をしないでください。
- 塩素系漂白剤、カビ取り剤は使用しないでください。
- 乾燥機は使用しないでください。
- スクリーンの上端に縫製しているプレートには熱を加えないでください。

3. スクリーンの取付け

スクリーンの洗濯後、スクリーンが乾いてから製品本体に取付けてください。

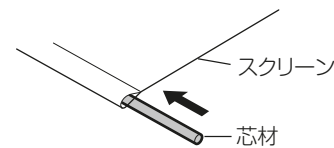
- 1) ウェイトバーをスクリーンに差し込みます。
ウェイトバーをスクリーンが傷つかないように注意して差し込んでください。

※ウェイトバーは図の向きに取付けてください。



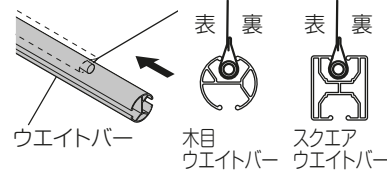
木目ウェイトバー・スクエアウェイトバーの場合

- ①スクリーン袋縫いの中に芯材を差し込みます。

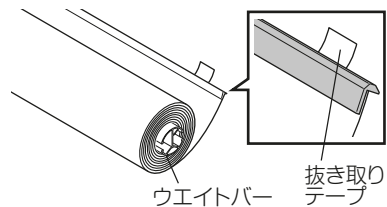


- ②ウェイトバーをスクリーンが傷つかないように注意して差し込んでください。

※ウェイトバーは図の向きに取付けてください。

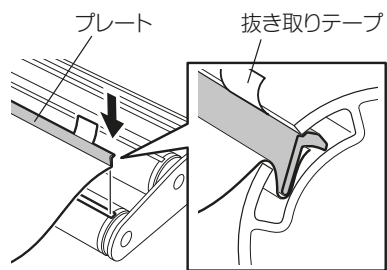


- 2) ウェイトバーを芯に抜き取りテープを右側にしてスクリーンをゆるく巻いてください。

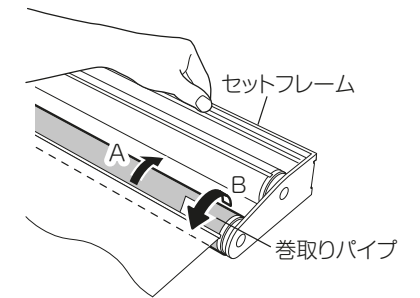


- 3) 製品本体を置きます。
スクリーンを取外したときと同じ方向に製品本体を置いてください。

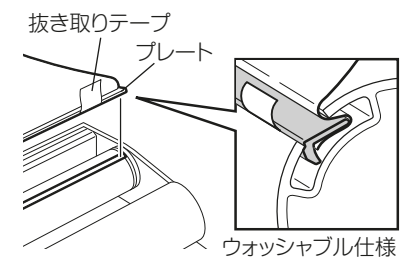
- 4) バックスクリーンを巻取りパイプに取付けます。
 - ①抜き取りテープ側のプレートの端を巻取りパイプの溝にはめ込みます。
このとき先にプレートのスクリーン側をはめ込み、次にプレートの先端側をはめ込んでください。
 - ②抜き取りテープの先が、巻取りパイプの溝から出るようにしてください。
 - ③残りのプレートも少しずつはめ込んでください。



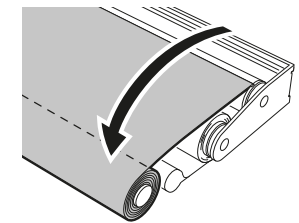
- 5) バックスクリーンを巻取りパイプに巻取ります。
巻取りパイプを矢印Aの方向に少し回転させるとスプリングの力で矢印Bの方向に回転しスクリーンが巻き取られます。（ウェイトバーに手を添えて行ってください）
スクリーンは約 300 mm 残した状態にしてください。



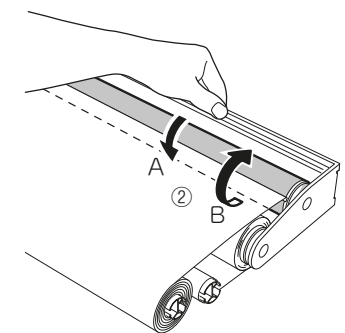
- 6) フロントスクリーンを巻取りパイプに取付けます。
 - ①抜き取りテープ側のプレートの端を巻取りパイプの溝にはめ込みます。
このとき先にプレートのスクリーン側をはめ込み、次にプレートの先端側をはめ込んでください。
 - ②抜き取りテープの先が、巻取りパイプの溝から出るようにしてください。
 - ③残りのプレートも少しずつはめ込んでください。



- 7) フロントスクリーンを巻取りパイプに巻取ります。
 - ①スクリーンを巻き付けたウェイトバーをセットフレームの上部からバックスクリーン側に移動します。

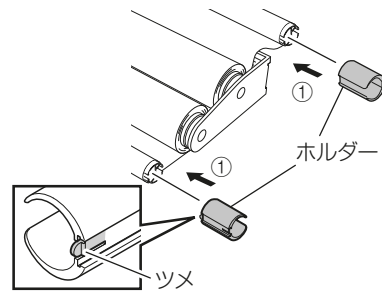


- ②片手でセットフレームを押さえ、巻取りパイプを矢印Aの方向に少し回転させるとスプリングの力で矢印Bの方向に回転し、スクリーンが巻き取られます。（ウェイトバーに手を添えて行ってください）
スクリーンは約 300mm ほど残した状態にしてください。



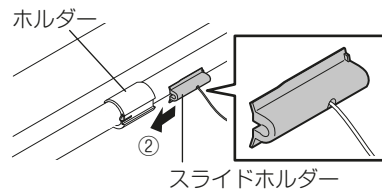
8) プルコードとウエイトバーキャップを取付けます。

①ウエイトバーを差し込んだ後、ホルダーを図のようにツメが左に向くようにして、ウエイトバーに沿って中央までスライドさせてください。

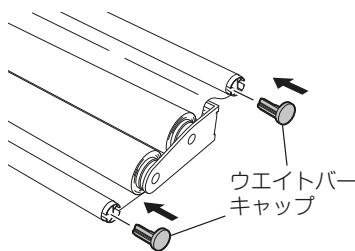


②ホルダーにスライドホルダーを矢印の方向から差し込み、ホルダーを固定してください。

※スクリーンの種類によりスライドホルダーが押し込みにくい場合があります。その際は、右から強くスライドホルダーを押し込み固定してください。



③ウエイトバーキャップを取付け、スクリーンを最後まで巻取りパイプに巻き取ってください。



9) 製品を取付けます。
製品をブラケットに取付けてください。
取付け方法は9・10ページを参照してください。

10) 製品を操作し、スクリーンの巻き上がりを確認してください。

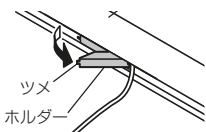
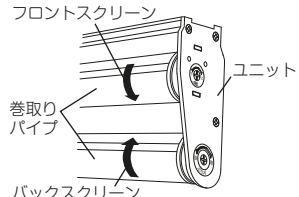
注意

- スクリーン巻き取り時に巻き乱れる場合
付属の「スクリーン巻きずれ調整シール」で調整してください。
- スクリーンが途中でしか巻き上がらない場合
スプリングが弱いことが考えられます。13ページ「巻き上げ速度の調整方法（スプリングの調整）」に従って巻き上げ速度を調整してください。
- フロントスクリーンの上限位置を調整したい場合
13ページの「上限位置の設定方法」を参照し、フロントスクリーンの止まる位置を調整してください。

お手入れ方法

- ・日頃のお手入れは、きれいなハンドモップ等でホコリを取り払ってください。
- ・ウォッシュャブル仕様の場合は、ご家庭の洗濯機で洗うことができます。取扱説明書の「スクリーンの洗濯方法」に従い洗濯してください。
- ・標準仕様の場合は、洗濯できません。汚れた際は、すぐに乾いた布で吸い取るか、水で固く絞ったきれいな布で軽く拭き取ってください。
- ・スクリーンは特殊加工しているため、折ったり曲げたりするとシワや跡が残る場合があります。取扱いには十分注意してください。
- ・水拭き可能な部品のお手入れに消毒用アルコール等をご使用になった場合は、柔らかい布で必ず水拭きしてください。変色や劣化する恐れがあります。

こんなときには

現象	改善方法
スクリーンがきれいに巻き取られない。	<ul style="list-style-type: none"> ●取付け面が水平ではない場合 製品が水平になるよう取付け面を調整してください。 ●上記原因以外（スクリーンの伸縮等）できれいに巻き取られない場合 付属の「スクリーン巻きずれ調整シール」をシールに記載の説明に従って取付けてください。 ●操作部が製品の中央にない場合 操作部はウエイトバーの中央に設置し真下に引いて操作してください。 ※標準仕様（袋縫いウエイトバー除く）の操作部は図のようにホルダーのツメを引き上げて位置を調整してください。調整後はツメを戻し固定してください。 ●操作部を真下に引いていない場合 操作部を真下に引いて操作してください。 
スクリーン端部がほつれてきた。	<ul style="list-style-type: none"> ●スクリーンが両サイドのユニットに当たっている場合 スクリーンが巻取りパイプにきれいに巻き取られるよう調整（上記）した後ほつれたスクリーンの端部をはさみで切り取ってください。
スクリーンが途中でしか巻き上がらない。（巻き上げ速度が遅くなった）	<ul style="list-style-type: none"> ●スプリングが弱い場合 13ページの「巻き上げ速度の調整方法（スプリングの調整）」に従って巻き上げ速度を調整してください。
スクリーンが下がってきて巻き上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ストッパーが解除されない場合 巻取りパイプを図の矢印の方向に手で回しゆっくり離してください。 ※フロントスクリーンとバックスクリーンでは回す方向が異なります。 
スクリーンが汚れた。	<ul style="list-style-type: none"> すぐに乾いた布で吸い取るか、水で固く絞ったきれいな布で軽く拭き取ってください。ウォッシュャブル仕様の場合は、14ページの「スクリーンの洗濯方法」に従いスクリーンを洗濯してください。洗濯はスクリーンに縫い付けられた洗濯表示に従ってください。

上記の改善をしても直らない場合やその他の問題が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

メンテナンスシールについて

この製品についての詳細はメンテナンスシールに記載してあります。
メンテナンスシールの貼り付け位置は、「取付け完成図と各部の名称」をご覧ください。

メンテナンスシール

(例)

品目：製品名が製品略号で表示されています。 受注番号：製品に対する管理番号です。お問合せの際にはこの番号をお申しつけください。

仕様コード：納まりの種類が表示されます。

JNo. 4-000-00000	00	工場 00-00
品目 WRS-O	色柄 N0000	
寸法W 1.800 H 1.800	年月 00/00	

色柄：スクリーンの色柄Noが表示されています。

年月：製品の製造された年月が表示されています。

寸法：製品のサイズがm単位で表示されています。

保証について

この製品は保証対象製品です。下記の保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、当社保証規定に従って修理させていただきます。
修理をご依頼の場合は、メンテナンスシールをご確認の上、お買い上げいただいた販売店又は、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

保証期間：お買い上げ日より3年間

保証規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベル・操作カードに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は無償で修理させていただきます。但し、消耗部品(スクリーン部・コード・チェーン類)の無償保証期間は1年となります。(スクリーン部の汚れは対象外)キズ・汚れにつきましては、7日以内にお申し出ください。
2. 保証期間内でも次の場合は無償修理対象外(有料修理)となります。
 - ・取付け上の誤り、使用上の誤りによる故障または破損。
 - ・不当な改造、修理による故障または破損。
 - ・天変地異(火災、地震、水害、落雷等)による故障または破損。
 - ・特殊環境(極度の高温多湿、薬品のガス、公害、粉塵等)による故障または破損。
3. お買い上げ日とはメンテナンスシールに記載されている製造年月となります。

●お客様サービス窓口：TEL03-3272-2595
(お問合せ時間：平日9時～17時30分)

株式会社ニチベイ
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4

お客様 MEMO

最新の取扱説明書は、ニチベイウェブサイトで簡単にご確認いただけます。
下記 URL より取扱説明書ダウンロードページへお進みください。

株式会社ニチベイ
www.nichi-bei.co.jp

ブラケット取付け時の注意事項

天井付け（窓枠の内側に取付ける場合）

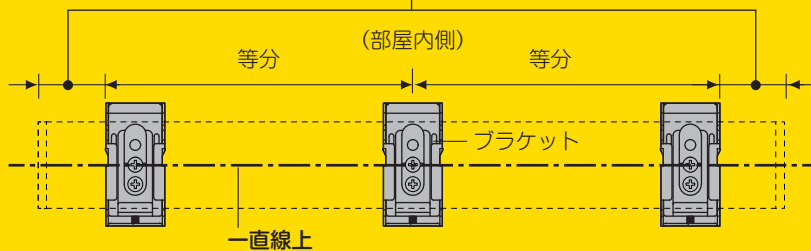
正面付け（窓枠の外側に取付ける場合）

ブラケットは下図のように同梱のブラケット取付けネジ2本でしっかりと固定してください。



- 木部以外に取付ける場合は下地の種類や構造に応じ穴径（φ4.4mm）に合った適正なネジやアンカー等を使用してください。皿ネジはブラケットが変形する恐れがありますので使わないでください。ブラケットが確実に取付けられないと、製品が落下し事故の原因になります。
- 窓枠以外の壁面等に取付ける場合、ウエイトバーが窓枠に当たらないようブラケットスペーサー（オプション）を用いて取付けてください。ウエイトバーが窓枠等に引っ掛かると、製品が落下し事故の原因になります。
- ブラケットを3個以上取付ける場合、各ブラケットが一直線上になるようほぼ等間隔に取付けてください。ブラケットが指定の位置に取付けられていないと製品が落下し事故の原因になります。

※両端のブラケット取付け位置は各製品の取扱説明書を確認してください。



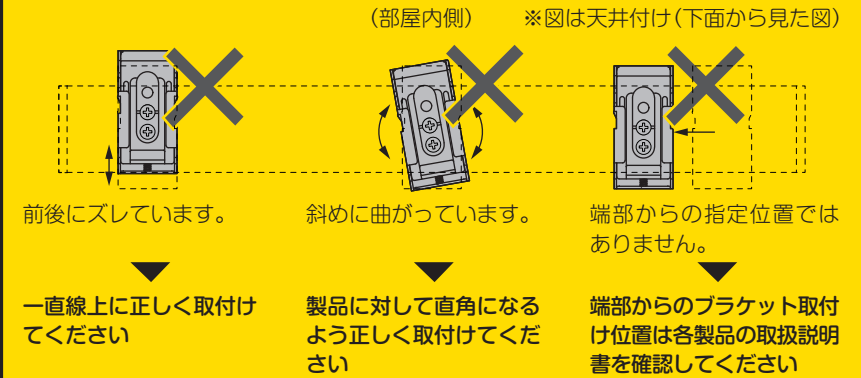
※図は手動製品の天井付け（下面から見た図）



警告

《誤った取付け例》

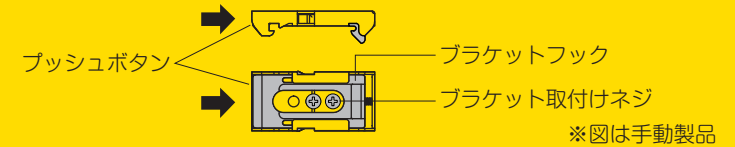
- ブラケットを下図のように誤って取付けた場合、正しく取付け直してください。ブラケットが正しく取付けられないと、製品本体が落下し事故の原因になります。



警告

《取付け後の確認》

- ブラケットのプッシュボタンを押し、ブラケットフックがブラケット取付けネジに干渉していないことを確認してください。ブラケット取付けネジがブラケットフックと干渉していると製品本体が落下し事故の原因になります。



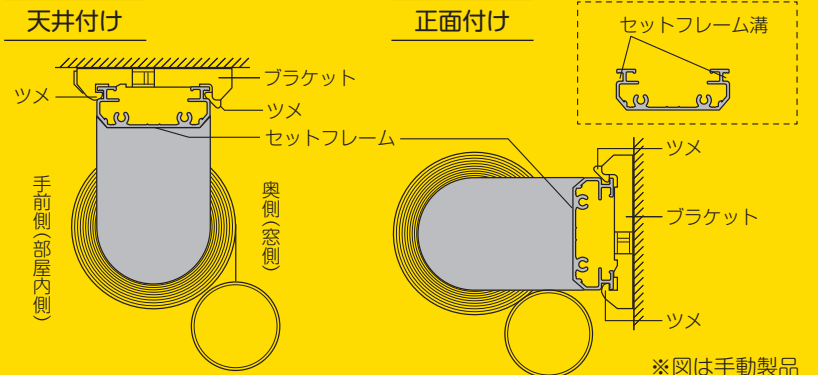
※図は手動製品

製品取付け時の注意事項

- 製品本体をブラケットに取付ける際は、製品本体のセットフレームの溝がブラケットのツメにしっかりと固定されていることを必ず確認してください。取付けが不完全な場合、製品が落下し事故の原因になります。



警告



※図は手動製品